取扱説明書 ―― 保管用

yamada

リニア調光LEDスポットライト（フランジタイプ）
（天井・壁付兼用）

ご使用になられる前に必ずお読みください

この取扱説明書には取り付け方や電球の交換方法、お手入れのし方などご使用にあたり重要な事柄が書かれてあります。
この取扱説明書を大切に保管して、お手入れなどの際にご利用ください。

お客様へ　：この器具の取り付け工事は必ず電気工事店（有資格者）にご依頼ください。
　　一般の方の工事は法律で禁じられています。
工事店様へ：工事が終わりましたら、この取扱説明書を必ずお客様にお渡ししてください。

■仕　様

品　名	光源ユニット	適合電圧
SD-4408-N	WW-2001N （ミディアム配光・白色 ）	AC100V (±6%)
SD-4408-L	WW-2001L （ミディアム配光・電球色）	
SD-4410-N	WW-2002N （ワイド配光・白色 ）	
SD-4410-L	WW-2002L （ワイド配光・電球色）	

※1 回路の最大接続台数は 20 台までです。20 台を超える場合は別途ご相談下さい。

この取扱説明書のマークについて

⚠警告　説明書中の「警告」は、重大な人身事故の原因となる危険を示します。
⚠注意　説明書中の「注意」は、物損及び障害事故の原因となる危険を示します。
❗　このマークのついている説明文は、必ず守ってください。
⃠　このマークのついている説明文は、行ってはいけない禁止事項です。

取り付け・取り扱い上の注意

⚠警告

一般屋内用器具です。屋外や浴室など湿気の多い場所では使用できません。
★感電事故や漏電の原因となります。

LED光源を長時間直視すると目を傷めることがあります。
★十分にご注意下さい。

次のような場所には取付けないでください。
★いずれの場合も器具の落下による器具、その他の破損やケガの原因となります。
○補強材の無い場所への取り付け（ボックスに取り付ける場合を除く）
○石膏ボードなど弱い建材面への取り付け
○樹脂製ボックスカバーへの取り付け（埋め込みボックスに取り付ける場合は、必ず金属製ボックスカバーに取り付けてください。）
○凸凹のある面には取り付けないでください。
★いずれの場合も器具の落下による器具、その他の破損やケガの原因となります。
○サウナへの使用
★器具の破損によるケガや漏電、感電事故の原因となります。

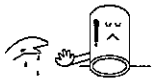
取り付け方向が指定されている器具は、取扱説明書および本体表示にしたがって、正しい方向に取り付けてください。
★指定以外の方向に取り付けると、火災や感電、器具落下によるケガの原因となります。

ドライバーなど異物を差し込まないでください。
★感電事故の原因となります。

器具を布などで覆わないでください。
★過熱して、発煙・発火やLED光源寿命低下の原因となります。

器具の改造や構成部品の変更、改造はしないでください。
★火災や感電事故の原因となります。

濡れた手で触らないでください。
★感電の原因となります。



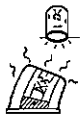
⚠注意

照明器具には寿命があります。設置後、通常のご使用で8～10年後には外観に異常が無くても内部劣化が進んでおります。点検・交換をお勧めします。※通常の使用条件とは周囲温度30℃、年間3000時間点灯です。(JIS C8105-1 解説による)
周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合は寿命が短くなります。

AC100V専用です。 必ずAC100Vの電源で使用してください。
★定格電圧より高い電圧で使用すると、過熱し、火災の原因となることがあります。
★定格電圧（100V）以外で使用した場合、器具寿命が短くなる事があります。

この器具は周囲温度5℃～35℃の中で使用してください。
★過熱して発煙や発火、LEDユニット寿命短縮の原因となります。

⚠注 意（前項続き）

- 調光器（ライトコントロール）と組み合わせる場合は、指定の器具をご使用下さい。（次項を参照して下さい。）
  ★不良点灯や調光器、照明器具の故障また火災の原因となります。
- 
  温度の高くなるもの（ガスレンジやエアコンの吹き出し口など）の近くに設置しないでください。
  ★異常過熱によるカバーの変形や火災の原因となります。
- カバー・フードのある器具でヒビの入ったカバーや欠けたカバーは使用しないでください。
  ★カバーの破損、落下の原因となります。
-
  殺虫剤やカビ取り剤などの薬品をかけないでください。
  ★変色や材料の変質によるカバーのヒビ割れなどの原因となります。
-
  点灯中や消灯直後の光源ユニット、器具内には触らないでください。
  ★火傷の原因となります。
- 同品名商品のLED光源でも色・明るさに多少のバラつきがある場合があります。予めご了承下さい。
- 照射距離が近い場合や照射面によっては光ムラが気になる場合があります。予めご了承下さい。
- 他の電気機器からの影響による電源電圧の変動によりちらつく事があります。予めご了承下さい。

調光器適合表

調光器（ライトコントロール）と組み合わせる場合は、指定の器具をご使用下さい。
★不適合な調光器は故障また火災の原因となります。

調光器	調光器品番	1 回路当たりの接続数	インターフェース ※1
ホームワークス用マエストロ（LUTRON 社）	HWD-4NE-JA-	1 ～ 8 台（調光器 1 台に対して）	LUT-LBX-JA
		9 ～20 台（調光器 1 台に対して）	不 要
グラフィックアイ QS（LUTRON 社）	QSG-*P-100-	1 ～20 台（1 ゾーンに対して）	LUT-LBX-JA
グラフィックアイ 3000（LUTRON 社）	GRX-310*-T-JA-	1 ～20 台（1 ゾーンに対して）	LUT-LBX-JA
調光盤（LUTRON 社）	JDP-**・GP-4	1 ～ 8 台（1 回路に対して）	LUT-LBX-JA
		9 ～20 台（1 回路に対して）	不 要

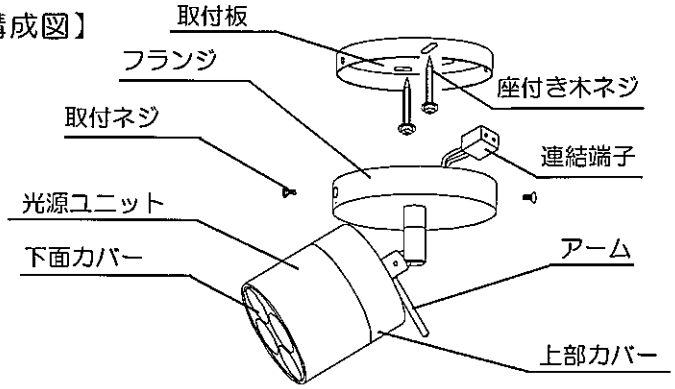
※ 1 インターフェースが必要な場合は1 回路に1 台を必ず接続して下さい。
LUT-LBX-JA：低負荷容量インターフェイス

★ 調光器との接続方法につきましては別途ご相談下さい。
★ 電源を入れても点灯していない様に感じられる場合は、電源投入後、一度調光レベルを上げて動作の確認をして下さい。

各部の名称

（説明図は、一部を省略抽象化した図です。）
（不足している部品があった場合には、お買い上げ店または山田照明サービス受付窓口までご連絡ください。）

【器具構成図】



【付 属 品 】

座付き木ネジ ・・・・・２本
（取り付け金具用）

取付ネジ ・・・・・２本

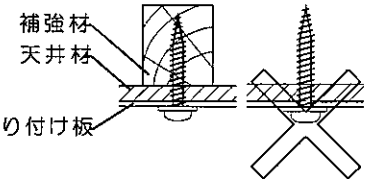
取扱説明書 ・・・・・１枚
（本書）

保証とアフターサービス
について（別紙） ・・・・・１枚

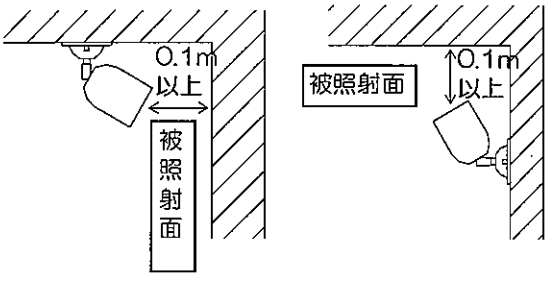
取り付け場所の確認

⚠警 告

- 付属の座付き木ネジで取り付ける場合、必ず補強材のある場所に取り付けてください。
  ★補強材のない場所に取り付けた場合、器具の落下事故の原因となります。
  ★ボックスに取り付ける場合は、別途ボックス止め用のネジをご用意ください。



- この器具は被照射面までの距離が決まっています。被照射面までの距離を0.１m以上離して設置してください。
  ★過熱による火災の原因となります。



⚠注 意

建物の構造によっては、付属の木ネジでは取り付けられないことがまれにあります。そのような場合には、器具取り付け場所の構造を確認の上、適切な長さの木ネジにて取り付けてください。

取り付け方　⚠注 意 ❗必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

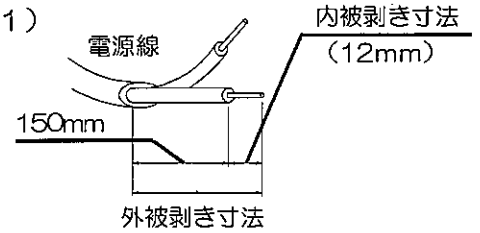
⚠ 警 告 ❗ 器具の取り付けは、説明書に従い確実に行ってください。
★取り付けに不備があると、器具の落下による「けが」や火災、感電事故の原因となることがあります。

❗ 端子に差し込むケーブルは、必ずＶＶＦφ1.6Aまたはφ2.0の単線ケーブルで真っ直ぐな線を使用して下さい。
★指定以外のケーブルや曲がった芯線、汚れた芯線の使用は、接触不良による火災や感電事故の原因となります。

●器具を取り付ける前に
●取付ネジをはずして、本体をはずします。

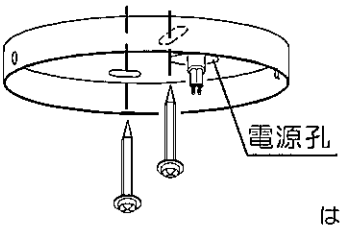
1．電源線の被覆を剥きます。（図１）
●電源線の外側の被覆を図１のようにむきます。

（図１）

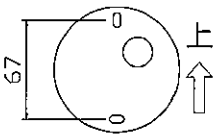


2．取付板を取りつけます。（図2）
①電源線を取付板の電源孔に通します。
②付属の座付木ネジで取付板を固定します。

（図２）



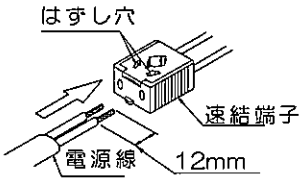
（図３）



⚠ 注 意 ●壁面に取り付ける場合
図の方向で取付板を設置してから取付けて下さい。（図３）
★指定以外の方法で取付けた場合落下事故の原因となります。

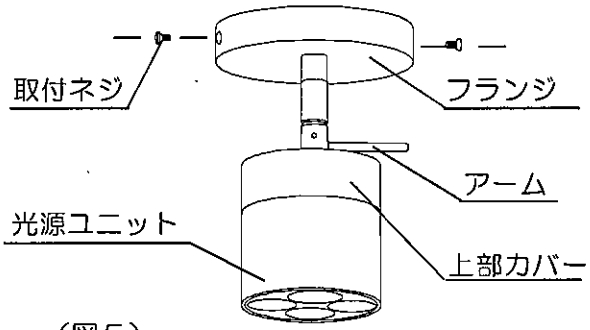
3．電源線を接続します。（図４）
●電源線を電源線差し込み穴に差し込みます。（図1）
※電源線をはずす場合は、幅6mmのマイナスドライバーをはずし穴へ真っ直ぐ差し込むとはずれます。

（図4）



4．本体を取りつけます。（図５）
●フランジの孔を取付板のネジに合わせ入れ、取付ネジ(2個) で固定します。

⚠ 注 意 ●取付ネジは確実に締め込んでください。
★落下事故の原因となります。
●ヒビの入ったカバーや、一部がかけているカバーは使用しないで下さい。
★カバーの落下事故の原因となります。

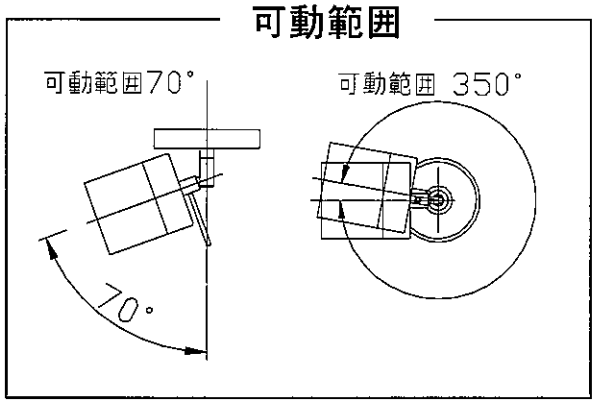


（図５）

照射角度の調節方法　⚠注 意 ❗必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

●この器具は、角度を調節できます。アームを摘んでゆっくりと角度を調節してください。

可動範囲



⚠注 意

●カバー角度を調節する場合は必ずスイッチを切ってから行ってください。
★感電事故の原因となります。
●カバー角度を調節する場合はアームを摘んで行ってください。
★火傷ので原因となります。
●点灯中や消灯直後の光源ユニット及び本体部品は熱くなっていますので触らないでください。
★火傷の原因となります。

スイッチ操作

壁スイッチにて「ＯＮ－ＯＦＦ」操作を行います。

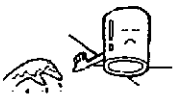
お手入れについて　⚠ 注意　❗ 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

●1年に1回はお手入れを行い異常が無いか点検をして下さい。
　また3年に1回は専門業者・有資格者による点検を依頼して下さい。
★点検を行なわずに長時間使用し続けますと、まれに発煙・発火・感電に至る恐れがあります。
●こまめに清掃を：照明器具が汚れていると、暗くなり、しかも電気代は変わらないので不経済です。
　定期的に清掃しましょう。暮れの大掃除の際には照明器具も清掃しましょう。

⚠注意

❗ ●お手入れをするときには、必ずスイッチを切ってから取りかかってください。
★感電事故の原因となります。

●スイッチを切った直後の光源ユニットは熱くなっています。絶対に素手で触らないでください。
★火傷の原因となります。
●濡れた手で触らないでください。
★感電事故の原因となります。



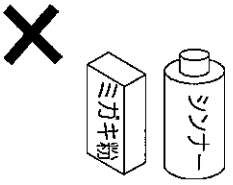
●光源ユニットは乱暴に扱わないでください。
★光源ユニットの故障の原因となります。
●シンナーやベンジンなど揮発性の薬品やクレンザーなどは使用しないでください。
★器具に傷をつけたり、変色や変質の原因となります。
★カバーの破損、落下の原因となります。

◆光源ユニットの交換

⚠ 注意 ❗　本製品は、構造上お客様にて光源ユニットを交換する事ができません。
メンテナンスの際は工事店または別紙の山田照明サービス受付窓口までご相談ください。

◆お手入れのしかた

1．スイッチを切ります。
2．柔らかい布に石けん水を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取ります。
3．汚れを落とした後、洗剤分を拭き取ります。
4．最後に乾いた布で、水分を完全に拭き取ります。



■アフターサービスについて

ご使用中、器具が普段と違った状態になりましたら直ちに使用を中止し、**器具の品名**（器具本体のラベルでご確認ください）、**故障の状況、ご使用期間**をご確認の上、お買い上げいただきました販売店、もしくは別紙の山田照明サービス受付窓口までご相談ください。